

大会長挨拶

大会ホームページをご覧になっていただき誠にありがとうございます。

この度、第27回沖縄県理学療法学会を令和8年11月23日（月・祝）に、琉球大学千原キャンパス文系講義棟にて開催の運びとなりました。

私たちを取り巻く環境は、AIの急速な普及やデジタル技術の革新、少子高齢化に伴う地域課題の複雑化、さらには社会保障制度の改革により、今まさに大きな転換点を迎えています。VUCA時代、さらにはBANI時代という言葉が示すように、変化のスピードと複雑さはかつてない水準に達しており、理学療法士の活躍の場や求められる役割もめまぐるしく変容しつつあります。私たちは理学療法士であると同時に、地域社会を支える一員として、大きく変革する時代の岐路に立っています。

本大会のテーマは「インテグレーションのその先へ」としました。このような時代だからこそ、私たちが積み重ねてきた知見、そして多職種および地域社会との連携という「インテグレーション（統合）」の力が、より一層重要になると考えています。しかし、大切なのは統合そのものにとどまらず、その先に新たな価値を創造し、イノベーションへとつなげていくことです。そのためには、これまでの歩みを丁寧に振り返り、蓄積された実践や知見を捉え直すことが欠かせません。その過程を通して、理学療法のみならずリハビリテーション全体の可能性をさらに発展させ、これからの時代に求められる実践へと結びつけていきたいと考えております。

本大会では、特別講演、教育講演、シンポジウム、学会企画、演題発表など多彩なプログラムを準備しております。また、演題登録は臨床・教育・研究・地域活動など幅広い分野から歓迎しております。

県内には、国内外へ学術的成果を発信している会員や、地域関係者と協働しながら社会的施策の構築に貢献している会員が多数おります。大会を契機に、会員相互の交流を深め、新たな学びや連携を生み出す機会となれば幸いです。また、学生の皆さまにも積極的にご参加いただき、将来の理学療法士としての活動やキャリアを考える一助としていただければ幸いです。

沖縄の知の拠点として研究と実践の架橋を担ってきた琉球大学の地で、実行委員一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。会員の皆さまをはじめ、関係機関及び団体の皆さまにおかれましては、お誘い合わせの上、ご参加ならびにご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。